

獨協医科大学埼玉医療センター 病院だより

2022.11
37号



● 主な内容 ●

東日本初 手術支援ロボット『hinotori™』導入、『Davinci Xi』と2台体制へ	2
入院患者さんの手荷物の受け渡しについて	3
エコキャップ回収活動報告	3
患者さんの権利・義務について	4~5
病院への手紙にお答えいたします	6~7

東日本初 手術支援ロボット『hinotori™』導入、 『DaVinci Xi』と2台体制へ

埼玉医療センター（以下、当センター）では、2017年12月からロボット支援腹腔鏡下手術を開始しました。ロボット支援手術では、3Dの内視鏡カメラによる患部の立体画像を見ながら、ロボットアームを操作し手術を行う精度の高い内視鏡外科手術です。当院にはロボット認定資格医が外科、産婦人科、泌尿器科あわせて33名在籍（2021年4月現在）しており、万全の体制で手術に当たっています。ロボット支援手術は従来の開腹術に比較し、術中の出血量が格段に少なく、切開する傷口も小さいのが特徴です。術後の痛みも軽減され、回復も早いので入院期間を短縮できます。現在、当センターのロボット支援手術においては、年間300例を超えるペースで稼働しています。からだにやさしい最先端の手術を提供するため、2021年9月4日に、国産手術支援ロボット『hinotori™ サージカルロボットシステム』を、東日本で初めて導入致しました。『DaVinci Xi サージカルシステム』に加え、当センターとして2台目の手術支援ロボットとなります。本機は、川崎重工業㈱とシスメックス㈱の共同出資にて設立された㈱メディカロイド製であり、日本国内で初めて開発された手術支援ロボットです。



手術支援ロボット「hinotori™」では、根治性が高く合併症が少ない精緻な先端外科手術を遂行するとともに、将来的に高速通信、AIなどのテクノロジーを駆使した手術環境が構築可能となることが期待されています。また、ロボット手術における利点の一つに、トレーニングがバーチャル環境で可能となる点があります。手術の前に基本的なロボット操作の習熟をバーチャル環境で行うことができ、確実なトレーニング効果がロボット手術において期待できます。当センターでは、hinotori手術支援ロボットのシミュレーションシステムを導入しました。今後も十分なロボット操作トレーニングを行うことにより、手術予定である患者さんの出血量低下や手術時間短縮などの実臨床アウトカムの改善につながると考えています。

（低侵襲治療センター 井手久満）

入院患者さんの手荷物の受け渡しについて (B7・A7・B6・A6・B5・A5病棟限定)

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、ご家族が院内に出入りすることはご遠慮いただきますようお願いいたします。

入院中の洗濯物やお着替えの受け渡しは、月曜日～金曜日に限り病院スタッフが対応いたしますので、下記の受け渡し時間内をお願いいたします。

なお、洗濯物やお着替え以外の貴重品や食品等はお預りできませんのでご注意ください。

【 記 】

- ・入院中の患者さんは、ご家族に渡す荷物をまとめ午前11時までに病棟看護師にお知らせください。
- ・ご家族が荷物の受け渡しに来られる時間は、午後2時～4時までです。ご来院時は正面入口横の守衛室にお声掛けください。
- ・手荷物の受け渡しは、月曜日～金曜日とさせていただきます。土曜日、日曜日、祝日のお預かりはできませんのでご注意ください。

以上

ご不明な点がございましたら、病棟看護師または入院課
(048-965-9639・048-965-9641)までご照会ください。

エコキャップ回収活動報告

当院では社会福祉及び環境保全に貢献することを目的として、平成24年9月から、院内で消費されたペットボトルのキャップをNPO法人「キャップの貯金箱推進ネットワーク」を通じて分別・回収し、そのリサイクルによる売却益の中から発展途上国へワクチンや医療物資等を送る「エコキャップ回収活動」を開始しておりますが、直近のご報告として令和3年7月～令和4年4月分の回収状況及びワクチンへの換算は下記のとおりとなりましたのでご報告致します。

＜令和3年7月～令和4年4月＞

重量 21.26 kg 個数 9,141 個 ポリオワクチン（小児麻痺） 10.6 人分

キャップの回収BOXについては、1号館1階ローソン前など計2箇所の自動販売機脇に設置し、教職員並びに患者さん等、来院者の方々にご協力を呼び掛けております。

私たちでも困っている人たちのために出来ることがあるという思いで、より多くのキャップを集めていきたいと考えておりますので、引き続き皆様のご協力を宜しく申し上げます。

埼玉医療センター庶務課

患者さんの権利・義務について

この度、「患者さんの権利」の一部見直しを行うとともに「患者さんの義務」という項目を設定いたしましたのでご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

患者さんの権利

獨協医科大学埼玉医療センターは、医療が患者さんと医療提供者との信頼関係で成り立つものであり、医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんに次のような権利があることを宣言します。

1. 良質な医療を受ける権利

年齢・性別・障がいの有無によって差別されることなく、平等かつ安全で良質な尊厳ある医療を受けることができます。

2. 知る権利

ご自身の病気や治療方法について、納得するまで十分な説明を受けることができます。ご自身の診療録の開示を求める権利があります。

3. 自己決定権

説明または提示された治療方法を受け入れるか、あるいは拒否することができます。

4. 秘密保持を得る権利

ご自身の医療に関する情報を得ることができるとともに、個人情報には常に保護、尊重されます。

5. 医療へ参加する権利

病院に対して意見や要望を申し出ることができます。

6. 子どもの患者さんの権利

小児の患者さんも、病気やけがなどに対し最善の治療を受けることができ、自由な意思が守られるとともに、自由に意見を表す権利があります。

獨協医科大学埼玉医療センター病院長

患者さんの義務

1. 情報提供義務

患者さんは良質な医療の提供を受けるために、ご自身の健康に関する情報をできる限り正確に医師や看護師に提供してください。

2. 状況確認義務

患者さんは納得のいく医療を受けるために、医療に関する説明を受け、理解ができない場合は理解できるまで質問して確認してください。

3. 診療協力義務

ア. 全ての患者さんが適切な療養環境で治療に専念できるように、社会的ルールや病院の規則、職員の指示を守ってください。

イ. 他の患者さんや職員に対する暴言・暴力等迷惑行為はお断りします。

ウ. 病院内では静粛にし、病院の設備・器物は大切に扱ってください。

エ. 大学病院の役割をご理解いただき、医療人の育成、医療の発展にご協力ください。

オ. 病院敷地内は禁煙・禁酒です。入院中の喫煙・飲酒は禁止します。

4. 医療費支払い義務

適切な医療を維持していくために、医療費を遅滞なくお支払いください。

〈義務に反した場合〉

前掲の義務に違反する行為があった時は、診療を中止することがあります。また、暴言・暴力等の行為があった時は警察に通報します。

獨協医科大学埼玉医療センター病院長

病院への手紙にお答えいたします ～2022年 春・夏～

* 入院中の食事について

入院時、常食ではなく腎臓病の食事で、入院4週間弱の間に天ぷらが8回も出てきました。献立を考えている方や調理の方には感謝していますが、これでは食べるのも嫌になってしまいます。

お答えいたします

この度は貴重なご意見をありがとうございます。腎臓食は特別治療食に分類されていて、エネルギーを保ちながらたんぱく質を制限することから、普通食とは内容が異なり苦痛に思えたのではないかと思います。栄養部における説明不足により、不本意な食事内容となってしまったことをお詫び申し上げます。食事は治療の一環であり、退院後に自宅での食事の参考にしていただければとの思いで提供をしております。高価な機能食品を使用すれば普通食に近い形も可能ではありますが、入手困難であることや経済面を考慮した結果であることもご理解いただけますと幸いです。今回の栄養部での説明不足を機に、より安心安全な食事の提供と、病棟訪問時に患者さんへの説明をしていくよう努める所存です。(栄養部より)

* 待合の温度について

入退院受付のある入口の正面に待合があるため非常に寒かった。退院したばかりの方もいるため、対策を検討してほしい。

お答えいたします

この度は貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。ご指摘の箇所は例年期間を定めて入退院患者さんの集中する時間帯のみ、締め切りの対応を実施しております。救急搬送時等については一時的に封鎖解除をすることがあるため、ご理解いただけますようお願い申し上げます。(庶務課より)

* 病院への手紙について

患者さんから寄せられる「病院の手紙」につきましては、病院長をはじめとする当院幹部役職者が全て目を通したうえで、該当部署に今後の対応などを報告させています。

更に医療サービス委員会にて改善案の計画・立案を行っており、改善できるものは早急に対応し、検討を要するものは少しでも患者さんのご要望にお応えできるよう日々努力を重ねております。

この「病院への手紙」については、個別の回答はしておりませんが、皆様からのご意見を当院の貴重な財産として真摯に受け止め、より良い病院づくりに活かしていくこととしております。

また、ありがたいお礼のお言葉も多数いただいております。職員の励みになっております。

皆様からいただいたご意見及びそれに対する回答については、この病院だよりを通じて一部ご紹介をさせていただきますが、その他多くのご意見等に対して可能な限り対応に努めていきますので、引き続き皆様の声をお寄せくださいますようお願いいたします。

* 電話でのCT予約について

年次経過観察の際等に、診察してからCTの予約をしなければならない。電話で予約をしたい。

お答えいたします

この度は貴重なご意見をいただきありがとうございます。CT検査は、半年以内の予約としております。装置のメンテナンスや更新の予定などが半年以降は確定できない場合があるからです。また、診察で被爆の説明を受け、同意をいただいた上で検査を行うことが法律上定められております。さらに、限られた枠を有効活用するためにも必要であると思われまます。(放射線科・放射線部より)

* 売店や屋上庭園、エレベーターへの緑の設置について

足の悪い方などは、ローソンまで行くのが困難な為、4号館に売店を設置して欲しい。また、3階の連絡通路にリハビリで使えるような屋上庭園、エレベーターホールに安らぎを与えるための緑が欲しい。

お答えいたします

貴重なご意見ありがとうございます。まず、屋上庭園に関しては、当院は安全面を最重要視し、職員も含め、屋上への出入りを禁止しております。そのため、今後も設置することはできません。次に4号館への売店設置についてですが、店舗を運営するにあたり病院内でのスペース確保が困難な状態です。ご理解の程宜しくお願い致します。(庶務課)

エレベーターホールへの緑の設置ですが、検討させていただきます。(施設課)

* 入院生活について（お礼）

手術に関わった皆さんに感謝しています。術後で声が出せない時に寄り添ってもらえて頑張ることができました。先生も毎日と言っていいほどに病室の様子を見に来てくれました。ナースコールを押すと、忙しいのに嫌な顔もせず、優しい声掛けをしてもらいました。リハビリも頑張っ、これからのことを増やしていきたいと思ひます。ありがとうございました。

* 病院スタッフへ（お礼）

たくさんの優しさと励ましの言葉で落ち込んだ気持ちも回復することができました。年内に退院できたことに感謝しています。仕事も素晴らしく素敵で、大変なことも多いでしょうが、いつも笑顔で尊敬します。私も真似ができるように期待と希望を持って頑張りたいです。

* 看護部・栄養部（お礼）

初めての入院でしたが、お忙しい中、一つ一つ丁寧にご対応していただき、本当にありがとうございました。術後、一週間ほどベットの上で生活をしましたが、訪室していただいた看護師の方々とのコミュニケーションが、とても楽しかったです。また病院食は薄味なイメージでしたが、とても健康的でおいしくて驚きました。本当にありがとうございました。健康第一で頑張ってください。

